

## 熊本県の降水量

本県は、九州中部の西側に位置し、東側には阿蘇山など1,000メートルを超える九州山地、北を筑肥山地、南を国見山地と三方を山地に囲まれ、また、西に有明海、県南は八代海を挟んで天草諸島が向き合う形となっています。

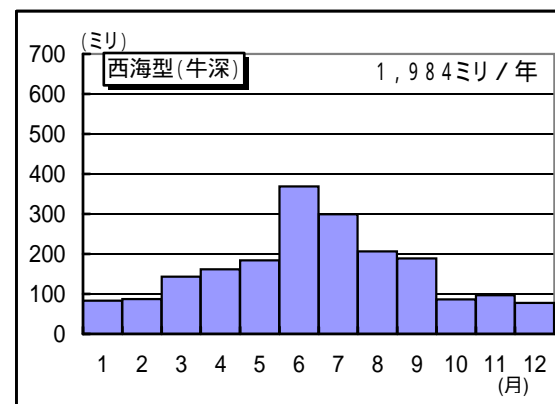
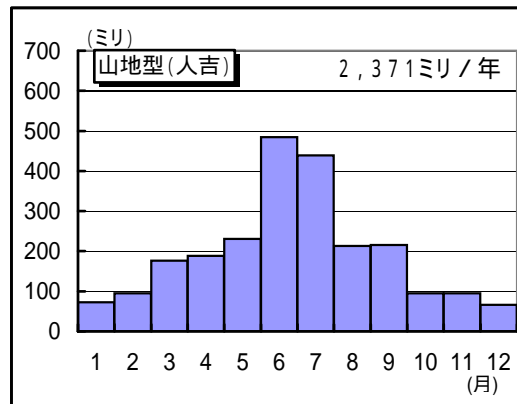
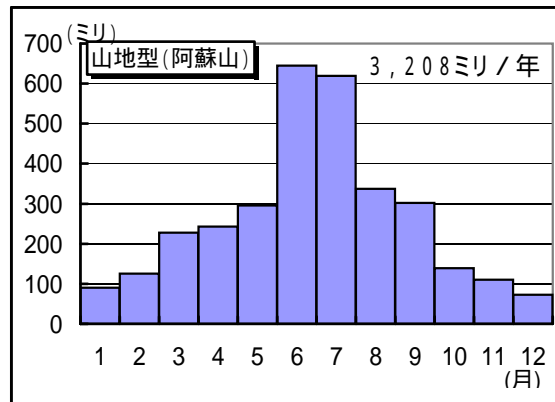
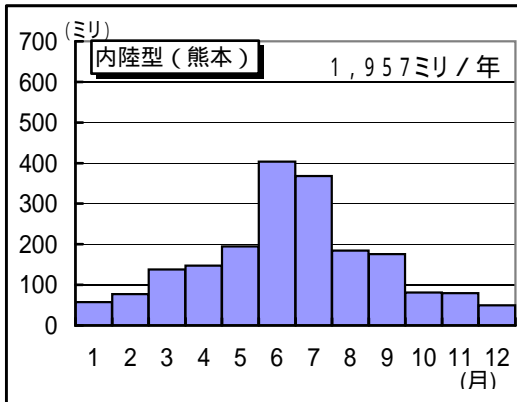
県内の年平均降水量は地形的要因から阿蘇山が平均3,208ミリと非常に多雨であるのに対し、熊本市では2,000ミリ以下となっており、地域により降水量に大きな格差がみられますが、全般としては全国平均の約1,718ミリ（昭和46年から平成12年までの平均）に比べて多くなっています。

また、年降水量の約3分の1が、6、7月の梅雨期に集中し、また、8月から9月にかけては台風による大雨もあります。一方、冬期は比較的に乾燥するなど季節による降水の偏りが見られます。

熊本市における1891年（明治24年）から2005年（平成17年）までの115年間の降水量を見ると、1993年（平成5年）が3,369ミリで最多降水量となっています。一方、最少は1894年（明治27年）で862ミリ、次いで1994年（平成6年）が921ミリとなっており、平年の半分以下でした。これらの年には各地で飲料水や農林業等に大きな影響が出ています。

1976年～2005年（昭和51年～平成17年）の30年間の平均降水量（単位：ミリ）

観測所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
熊 本	57.9	76.9	138.2	147.2	194.8	403.7	367.8	184.5	175.9	80.9	80.0	49.5	1,957.3
阿 蘇 山	90.2	125.5	227.8	242.9	295.9	644.5	619.4	337.3	302.4	138.9	110.4	72.7	3,207.9
人 吉	72.5	95.2	176.0	188.4	230.8	484.2	438.6	212.9	215.9	95.0	95.1	66.5	2,371.1
牛 深	83.0	87.5	143.3	161.7	183.7	368.7	299.2	206.7	188.5	86.7	96.9	77.8	1,983.7



参照)

1976～2005年 気象庁資料  
平成18年度版「日本の水資源」（国土交通省）